

少数台数のリコール届出の公表について (令和5年3月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和5年3月は14件の届出がありましたので公表します。

1. 届出者：日産自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月2日	5288	車名：ニッサン 型式：DBA-R35 通称名：GT-R	1	平成30年2月15日
不具合の部位等	VR38型エンジンの交換修理用部品において、クランク穴加工の設備計測機の設定が不適切であったため、クランク穴径が規格より小さく加工されたものがある。そのため、極低温環境下ではクランク穴とクランクシャフトのメインベアリングとのクリアランスが確保できずメインベアリングが焼き付くことで異音が発生する。そのままの状態で使用を継続すると、メインベアリングの焼き付きが進行し、最悪の場合、エンジンが破損するおそれがある。			

2. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
3月7日	外 3574	車名：BMW 型式：LDA-1S20 通称名：BMW 118d	8	平成29年6月27日～ 令和元年6月3日
不具合の部位等	ディーゼルエンジンの排気ガス再循環装置（EGR）モジュールにおいて、経年変化により冷却水が漏れるものがある。その場合、排気ガスに含まれる煤が冷却水と混合して排気ガス再循環装置（EGR）モジュールの内部に堆積し、高温になった堆積物がインテークマニホールドに流入し付着して、インテークマニホールドが溶損する可能性がある。最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

3. 届出者：Stellantis ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
3月7日	外 3581	車名：シトロエン 型式：3LA-E435G06H 通称名：C5 XPLUG-IN HYBRID	46	令和4年11月18日
不具合の部位等	フロントサブフレームにおいて、インパクターを取り付けているボルトの締め付けが不適切なため、使用過程でボルトが緩むおそれがある。このため、走行中に異音が発生し、最悪の場合、インパクターが車両から脱落するおそれがある。			

4. 届出者：Stellantis ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
3月7日	外 3582	車名：DS 型式：3DA-D41YH01 通称名：DS 4	98	令和4年11月3日～ 令和4年12月27日
不具合の部位等	フロントサスペンションアーム及びサブフレームにおいて、固定ボルトの締め付けが不適切なものがあり、使用過程でゆるむおそれがある。このため、走行中に異音が発生し、最悪の場合、サスペンションアームやサブフレームが保持できなくなり、車両の走行安定性を損なうおそれがある。			

5. 届出者：三菱ロジスネクスト株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
3月14日	5295	車名：ユニキャリア 型式：EBT-F198 通称名：HG1F4F50D	1	令和3年3月29日
不具合の部位等	フォークリフトのエンジンにおいて、シリンダヘッド製造時の鑄型管理が不適切なため、燃焼室の形状が公差をはずれているものがある。そのためガソリン燃料使用時に適切な混合気が生成できずに燃焼不良が発生し、NOx排出量が規制値を超えるおそれがある。			

6. 届出者：株式会社小松製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月14日	5296	車名：コマツ 型式：EBT-M293 通称名：FG35	1	令和3年9月6日
不具合の部位等	フォーク・リフトのエンジンにおいて、シリンダヘッド製造時の鋳型管理が不適切なため、燃焼室の形状が公差をはずれているものがある。そのためガソリン燃料使用時に適切な混合気が生成できずに燃焼不良が発生し、NOx排出量が規制値を超えるおそれがある。			

7. 届出者：株式会社小松製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月15日	5292	車名：コマツ 型式：ZAF-M299 通称名：FE25-2	82	令和3年7月30日～ 令和4年12月20日
不具合の部位等	バッテリー式フォーク・リフトのワイパーにおいて、ワイパーアームに取り付いているスプリングの長さ指示が不適切なため、ワイパーが前面ガラスに強く押し付けられているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ワイパーが途中で止まり、動かなくなる場合がある。また、ワイパーモータカバーの設計が不適切であったため、隙間から水等が浸入しモータ内部が腐食しワイパーが作動しなくなるおそれがある。			

8. 届出者：株式会社小松製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月15日	5293	車名：コマツ 型式：YDS-WA142 通称名：WA470-10	37	令和元年6月20日～ 令和5年1月24日
不具合の部位等	<p>① ショベル・ローダのエンジンサイドカバーの構造が不適切なため、サイドカバーを固定するピンがラッチに正常に嵌らない場合がある。そのためそのまま使用を続けると、稼働時の振動等でピンがラッチから外れ、最悪の場合、サイドカバーが車体から脱落するおそれがある。</p> <p>② ショベル・ローダの作業機ポンプからコントロールバルブ配管に繋がる油圧チューブにおいて、油圧チューブをトランスミッションケースに固定するプレートおよびブラケットの強度が不足しているため、エンジン振動等を受けて折損し、油圧チューブが固定できなくなる。そのためそのまま使用を続けると、油圧チューブの溶接部に亀裂が生じ、作動油が著しく漏れ、作業装置等が作動不良に至るおそれがある。</p>			

9. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
3月15日	外 3589	車名：メルセデス・ベンツ 型式：3DA-177112 通称名：A200d セダン	12	令和4年5月9日～ 令和4年5月26日
不具合の部位等	エンジンのシリンダーヘッドボルトにおいて、製造時の熱処理が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、当該ボルトが破損してシリンダーヘッドとクランクケースの間の締結が部分的に緩むことで、冷却水やエンジンオイルが漏れ出して警告灯が点灯し、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、エンジンが損傷するおそれがある。			

10. 届出者：スカニアジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
3月17日	外 3590	車名：スカニア 型式：2DG-NB4X2BVJ 通称名：SV オプティマス	29	平成30年5月28日～ 平成30年11月6日
不具合の部位等	前照灯、制動灯、車室室内灯、エアコン及びドアを制御するコントロールユニットのソフトウェアが不適切なため、内部電流の上昇を検知し安全機能が働く場合がある。このため制御信号を断続的に遮断し最悪の場合、前照灯や制動灯が不灯または点滅し保安基準を満たさないおそれがある。			

11. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
3月29日	外 3595	車名：BMW 型式：8BL-S10AB 通称名：S1000RR	38	令和4年10月7日～ 令和4年11月11日
不具合の部位等	フライス加工されたブレーキレバーにおいて、マスターシリンダーと接続するブレーキレバー内の制御ピンの寸法精度に不適正なものがある。そのため、ブレーキシステムの圧力調整が不十分になることがあり、最悪の場合、ブレーキレバーの移動量が増加したり、ブレーキのプレッシャーポイントが変動するおそれがある。			

12. 届出者：フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
3月30日	外 3593	車名：アウディ 型式：ZAA-FWEBGE 通称名：アウディ RS e-tron GT	7	令和3年10月19日～ 令和3年11月2日
不具合の部位等	<p>緩衝装置のエアスプリングストラットにおいて、製造時に当該ストラットの加工不良により、保持クリップを組み付ける溝が正しく加工されていないものがある。そのため、保持クリップが溝に確実に嵌っておらず、最悪の場合、当該クリップが外れ、エアスプリングがストラットと分離してしまうことがある。そのため、エアスプリングのエアが抜けスプリング機能が失陥する事で車両が傾き、ハンドルの操作性が低下するおそれがある。</p>			

13. 届出者：Stellantis ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
3月30日	外 3594	車名：シトロエン 型式：ZAA-C41ZK01 通称名：e-C4	83	令和4年11月3日～ 令和4年12月27日
不具合の部位等	<p>駆動用バッテリーのバッテリーマネジメントユニットにおいて、バッテリーから送信される向こうな信号を不具合と誤判定してしまう場合がある。このため、警告灯が点灯し、警告メッセージが表示されると共に駆動電源が遮断され、走行不能となるおそれがある。</p>			

14. 届出者：BRPジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
3月31日	外 3584	車名：BRP 型式：RDD 通称名：SPYDER F3S	19	令和4年5月31日～ 令和4年12月12日
不具合の部位等	<p>左右のバックミラーにおいて、成形不良のミラーハウジングを使用したため、レンズがミラーハウジングから脱落することがある。そのため、視認性が低下することとなり、車両衝突を引き起こすおそれがある。</p>			

【参考】

●令和5年3月のリコール届出件数

	内 訳		
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	8 (-8)	3 (-9)	5 (+1)
輸入車	22 (+3)	13 (+1)	9 (+2)
計	30 (-5)	16 (-8)	14 (+3)

※ () 内は、対前年度同月比

●令和4年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

月	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	16(-6)	21(+7)	37(+1)	524,427(+58,412)	6,723(-9,052)	531,150(+49,360)
5	12(-4)	13(+7)	25(+3)	248,193(-386,298)	23,119(-6,120)	271,312(-392,418)
6	17(-5)	30(+9)	47(+4)	280,301(-1,057,467)	186,244(+179,431)	466,545(-878,036)
7	17(+5)	13(-8)	30(-3)	445,896(+207,438)	24,425(-57,129)	470,321(+150,309)
8	2(-4)	10(-3)	12(-7)	2,714(-11,517)	7,975(-21,615)	10,689(-33,132)
9	18(-1)	9(-14)	27(-15)	157,347(-17,806)	39,972(+30,952)	197,319(+13,146)
10	14(-5)	22(+9)	36 (+4)	172,313(-31,909)	41,095(+33,378)	213,408(+1,469)
11	15(-2)	11(+13)	26(+11)	104,502(-203,242)	45,470(-26,356)	149,972(-176,886)
12	22(±0)	24(+5)	46(+5)	397,287(+220,484)	50,495(+38,308)	447,782(258,792)
1	7(+2)	12(+5)	19(+7)	869,156(+783,396)	7,293(-40,007)	876,449(+743,389)
2	18(-1)	18(+10)	36(+9)	459,146(+255,612)	59,126(+39,494)	518,272(295,106)
3	8(-8)	22(+3)	30(-5)	348,374(234,083)	132,886(111,366)	481,260(345,449)
小計	166(-29)	217(+43)	383(+14)	4,009,656(+51,186)	624,823(+325,362)	4,634,479(+376,548)

※ () 内は、対前年度同月比

(問い合わせ先)

国土交通省自動車局審査・リコール課 リコール監理室 千葉・柴田 電話 03-5253-8111 (代表) (内線 42361)
